

“今日より明日はきっと良い日”

—「すてき女性」応援講座—

23分の1という確率 ピンクリボンフォーラム2005

by きらら&うらら

乳がんは大変な勢いで増加しており、日本では現在23人に1人が乳がんにかかっているといわれています。

「乳癌患者友の会 きらら」では、2004年広島で初めて開催されたピンクリボンキャンペーンから実行委員会のメンバーとして参加してきました。わたしたちは患者会という枠を越えて、女性の健康を社会全体の問題としてとらえ真摯に考える多くの仲間たちとともに活動をし、乳がんの早期発見、早期診断、早期治療の重要性を改めて認識し、いっそうの啓発活動が重要であると実感しています。乳がんのみならず、子宮がん、卵巣がん、また女性特有の病気について理解を深め、自分自身のからだをケアし“今日より明日はきっと良い日”と前向きに生きるすべての「すてき女性」をわたしたちは応援します。

今回の講演会では、広島で女性のがん治療に関してもっとも信頼がおける先生方にお越しいただき、地域に密着した医療情報の発信という一歩踏み込んだ観点から、患者のみならず、患者の家族、医療関係者、女性特有のがんに関心のある人、女性の健康に関心のある人など、一般市民を対象にお話しいただきます。また、会場参加型の楽しいQ&Aコーナーもまじえて、よりわかりやすく充実した内容となっております。

本日は、ご参加の皆さま方とともに、今日より明日へと希望をつなぐ有意義なフォーラムにしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

<スケジュール>

13:00～ 開会

座長：大崎 昭彦氏

I—もはや他人事ではない、女性のがん—

13:10～13:40 講演：「乳がんを知ろう」

桧垣 健二氏

13:40～14:10 講演：「婦人科がんを知ろう」

永井 宣隆氏

14:10～14:20 休憩

II—「すてき女性」の選択肢—

14:20～14:50 講演：「女性のがんと放射線治療」

兼安 祐子氏

14:50～15:10 トーク：「情報発信の必要性」

井上 佐智子氏

武井 妙美・中川 圭

15:10～15:20 休憩

III—知っておきたい女性のがん講座—

15:20～16:20 出演者全員による

「皆さまのご質問に楽しく

お答えいたします。乳癌ガイドライン他」

コーディネーター 村上 茂氏

16:30 終了

司会・進行 中川 圭

出演者のご紹介

座長



広島大学病院 内分泌外科(原医研外科) 講師

大崎 昭彦氏

女性の健康についてみんなで考えて欲しいと思います。自分だけは大丈夫と思いきましないで、いま一度自分を見つめ直してみてください。このフォーラムがそんなきっかけになればいいなと思っています。

第I部講演



広島市立広島市民病院 乳腺・内分泌外科 主任部長

松垣 健二氏

乳癌ほど若く発症し、罹患率、死亡率が増加している癌はありません。残念ながらその予防は困難です。しかし、早期に発見されれば完治も夢ではありません。母であり、妻であり、そして女性であるひとりひとりが検診の必要性を認識し、行動に移すことが重要です。また、乳癌はたとえ発症しても様々な治療法が用意されています。今回のフォーラムが少しでも皆様のお役にたてればいいと思っています。



広島大学病院 婦人科長・助教授

永井 宣隆氏

婦人科がんの中で代表的な子宮頸がんはがん検診の普及から罹患率、死亡率が減少したがんの一つですが、最近再び死亡率が漸増しています。また、欧米で多いとされる子宮体がん、卵巣がんも増加しており、婦人科がん検診の重要性と最近の治療法について解説します。

第II部講演



広島大学病院 放射線科 助手

兼安 祐子氏

放射線療法は臓器温存が可能な癌治療の一手段で、頭頸部・食道癌や女性特有の乳房・子宮頸癌等の治療で重要な役割を果たしています。また、手術や抗癌剤との併用で、各科が協力する集学的治療の一翼を担っています。

第III部コーディネーター



広島大学病院 内分泌外科(原医研外科) 助手

村上 茂氏

今我が国の医療は、患者様を中心とした医療へと変わりつつあります。これからは、皆様ご自身が病気について関心を持ち、正しい知識を身につけることが大切です。今回のフォーラムがその一助になれば幸いです。

第II部トーク



女性と健康を考える会 代表

井上佐智子氏

乳がんの情報をどこで入手すればよいかわからない女性たちにとって、患者会の存在は大きいものでした。まだまだ女性の医療は遅れています。今回のフォーラムで、乳がんの医療分野に何が求められているのかを提言したいと思います。



乳癌患者友の会 きらら

中川 圭

もはや決して他人事ではない女性の癌。あなたとあなたの大切な人の命を守るため、このフォーラムで情報を発信します。ピンクリボンに思いを託して。